

## 「バプテスマは一つ」 エペソ4：4-6（「一致の基礎」その6）

堀田修一 20・1・26

本日は、バプテスマ、洗礼式の日。喜びの日！バプテスマの恵みを味わいましょう。

I バプテスマ、洗礼は、神の先行的恵みを信じ救われた人が、神への信仰を公に告白する聖なる儀式です。神の先行的恵み。

1. 父なる神の愛＝「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」ヨハネ3：16。「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」イザヤ43：4。

2. 子なる神の恵み＝キリストは、十字架で、私達の罪（不品行、偶像礼拝、憎しみ、恨み、ねたみ、悪口、不正、うそ、神と人への愛のなさ等）を負い、私達の罪を完全に償われた。死に勝利し、三日目に復活された。愛の羊飼い「あなたがたのうちのだれかが羊を百匹持っていて、そのうちの一匹をなくしたら、…いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか」ルカ15：4。本日のお二人も、私達皆も、迷える羊だった。その私達を霊的な羊飼いである主は、私達を愛し、捜し出し、洗礼に導かれ、養い続けて下さる。アメイジンググレイスの歌詞「私は、失われた者だったが、今は捜され見つけ出されている」。

3. 聖霊なる神の恵み＝私達の罪を示し、主への信仰を与え、洗礼を受ける意志を与えて下さる。逆境中でも、平安を与えて下さる。

II 「バプテスマは一つ」とは、世界中のバプテスマ、洗礼の聖なる儀式の恵みは、一つ。

それを深く覚え感謝する事は、御霊の一致を「保つ」ことにおいて、とても大切な基礎。

「バプテスマは一つ」とは、バプテスマ、洗礼の方法、浸礼、滴礼、場所、水の温度、水のきれいさ、誰が授けたか等とは、一切、関係ない。安心していただきたい。

※旧約時代は、数えきれない儀式があった。主イエスは、主の生涯と十字架と復活により、それらのすべての儀式が指示していた私達人間の救い（罪の赦し、偉大な神に近づける新しい道）を成就された。新約時代には、主イエスは、二つの大切な儀式を制定された。

それは、1. バプテスマ、洗礼式と 2. 主の十字架の恵みを深く覚える聖餐式。

III 「バプテスマは一つ」の真の意味＝「バプテスマ、洗礼が、象徴し、意味している恵みは一つ」。

1. バプテスマ、洗礼という儀式が、意義深いものとなる為には、この聖なる儀式に先行している三位一体の神の恵みを信じ知り続ける恵みが大切。洗礼という儀式が人を救うのではない。神の先行する恵みを信じる信仰により救われる。①父なる神の大きな愛 ②私達の為の主イエスの十字架と復活の恵み ③聖霊なる神が、神とお互いの交わりを生み出して下さる恵み。

2. バプテスマ、洗礼が象徴している恵み。

①多くの罪を洗い流すこと、罪の赦しを表す。②父と子と聖霊なる神との交わりの回復。

3. 洗礼を受ける最大の理由＝主の御命令だから。「あなたがたは行って（関係作りをして）、あらゆる国の人々を弟子（自分の罪を悔い改め主にどこまでもついて行く弟子。弟子の集まりである教会を建て上げる）としなさい。そして、父、子、聖霊の御名（単数。三位一体を示す）によって（原語：「の中へ」。父と子と聖霊の互いに愛し合う交わりに迎えられる、浸される）バプテスマ（原語：水に浸す＝父と子と、聖霊の交わりに浸される恵みを示す。体を洗う＝主の十字架の血ですべての罪が洗いよめられた恵みを示す）を授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように（頭の知識だけでなく、神の恵みに感謝し聖霊の力での実践。実践でますます恵み分かる）、彼らを教えなさい（洗礼を受けて終わりではなく、洗礼後が大切。礼拝説教やデボーションや主を中心とした交わり、分かち合い等で主の御言葉に教えられ続ける事が主の弟子として成長する秘訣）。」マタイ28：19, 20。素晴らしい励ましが続く→「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます」28：20。③「バプテスマを受けてキリストにつく者とされたあなたがたはみな、キリストをその身に着たのです」ガラテヤ3：27。人につくのではなく、「キリストにつく」時、教会に真の一致が生まれる。主を間に置くお互いの距離も近くなり、健全な一致（同化ではなく、神が与えられた違いを尊重し合い、調和して行く一致）を保てる。バプテスマは、キリストと霊的に結ばれ、キリストの支配、領域、影響下に私達が入られることを表し、また意味する。「神は、私達を暗やみの圧政から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました」コロサイ1：13。私達は、今や、新しい国、新しい支配の中に、また完全で新しい力の下にいる。キリストを告白し、バプテスマを受ける時、私達自身を主にささげ、キリストが私達の主であり、主人である事を公に言い表す。④私達は主を信じる信仰、神が主の十字架で私達の罪を罰せられ、その恵みで私達の罪が赦され、キリストの義（洗礼着が示すもの）が私達に着せられるという信仰があるだけではなく、さらに私達は、主を信じ、バプテスマを受け、キリストのからだである教会に連なる者とされた。主を信じる私達はみな、キリストに結び合され、（人ではなく）キリストに着く者とされ、キリストのからだ、つまり教会の一員とされた。それ故に、バプテスマ、洗礼を受ける事により教会員となる。教会に神の家族が加えられる日。神の喜び、教会の喜び、家族、子どもステップの喜びの日。「一人の罪人が悔い改めるなら…大きな喜びが天（神ご自身の喜び）にあるのです」ルカ15：7。洗礼式には神の喜びが伝わってくる。三位一体の神の臨在が濃い。洗礼はゴールではなく、信仰生活のスタート。洗礼を受けた後、主から離れないように祈り合いたい。

#### IV 洗礼や転入により教会に所属する恵み。神の家族となる恵み！洗礼後の成長の秘訣。

1. 主が満ち満ちておられる礼拝で、共に素晴らしい神を賛美し、説教者の準備と皆の祈りの支えの結晶、共同の業として語られる礼拝説教の御言葉で毎週、恵みを受け養われる。

2. 私達は、一人では弱い。神はその事をご存知で教会を与えられた。消えそうな一本の薪も集められると、また燃え上がるように、私達も共に集まり、神を礼拝し、主を中心に交わり、御言葉を分かち合い、祈り合う時（セルグループやコイノニアや家庭礼拝等）、心が強められる、支えられる。神を中心に交わる事と一人、神の前に静まる事（デボーション。「みことばの光」等）は、対立する事ではなく、相互作用がある。神は、両方を大切にするように導かれる。

3. 自分が受けた主の救いを家族、知人、友人に伝える。

4. 喜び奉仕をさせていただく。※励まし：「いつでも祈るべきで、失望してはいけない」ルカ18：1。主に「信頼する者は慌てふためくことがない」イザヤ28：16